



安全上のご注意 ※必ずお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

| |
|--|
| 絵表示の例 |
|  ・・・してはいけない「禁止」の行為を示す表示です。 |
|  ・・・必ず実行していただく「強制」を示す表示です。 |

| |
|---|
| 警告 ※この表示と異なる誤った扱いをすると、死亡又は重傷などを負う可能性が想定される内容です。 |
| 袋をかぶって遊ばないでください |
| 製品本体が入っていた袋はお子様がお遊ばないように手の届かない所に保管または破棄してください。窒息の原因となります。 |
| 電池の取り扱いについて |
| 電池は分解、加熱、火の中に入れてたりしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。 |
| 電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。 |
| 電池が液漏れした場合は、液に触れないでください。万一、電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合は、ケガの恐れがあるので、すぐに水で洗い流し、目に入ったときには失明などの恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。 |

| |
|---|
| 注意 ※この表示と異なる誤った扱いをすると、傷害を負う可能性又は物的損害の発生する可能性が想定される内容です。 |
| 分解したり改造をしないでください |
| 火災、感電、ケガの原因となります。 |
| 設置場所について |
| <ul style="list-style-type: none">● 温度が40℃以上になる所（長時間直射日光が当たる所や、暖房器具等の熱風や火気に近い所など）● 温度が0℃以下になる所● 静電気が発生する所● 強い磁気や振動のある所● 多量の油分や薬品等による揮発性物質やガスが発生する所● 不安定な所● 屋外● ほこりや浴室などの湿気の多い所 |
| 本体取り扱い・保管について |
| 落としたり、強くぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。 |
| 保管する際は、幼児の手の届かない所に保管してください。 |

| |
|--|
| 電池の取り扱いについて |
| 電池を誤使用すると液漏れ、発熱、破損の恐れがあります。 <ul style="list-style-type: none">● +、-（プラス、マイナス）を逆さに入れないでください。● 新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池を一緒に使用しないでください。 時計を使わない時は電池を外してください。電池を入れたままにしておきますと、電池の液が漏れて時計やその周辺を傷めたり人に危害を与える場合があります。 |
| 電池交換時は、新しい電池を使ってください。電池から液が漏れていないかを確認ください。 |
| 電池は約1年で交換してください。同一の電池を長期間ご使用になりますと、電池の液が漏れて電極やその周辺が腐食することがあります。 |
| オキシライド電池、二次電池（充電式電池）は、時計のような低電圧を連続的に使用する製品で使用した場合、アルカリ電池に比べて電池寿命が短くなる、適正に動作しないなどの不具合が生じる恐れがありますので使用しないでください。 |

静電気について

静電気の影響でまれに異常動作を引き起こすことがあります。このような場合は電池を一旦外して、そのままの状態て10分程度放置後、再び電池をセットすると、正常に復帰することがあります。

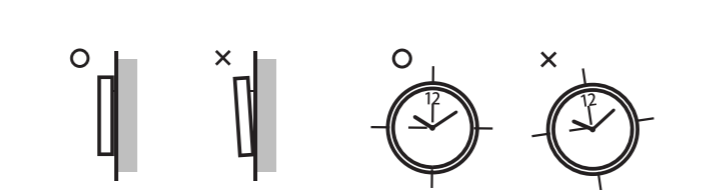
お手入れについて

ケースが汚れた時は石ケン水、水などを布に染み込ませ、かたく絞った上で拭き取ってください。

| | |
|-----------|----------------------------------|
| 注意 | シンナー、ベンジン、クリーナーなどは絶対に使用しないでください。 |
|-----------|----------------------------------|

時計の掛け方について

- 時計は確実に掛けてください。落下により、ケガをする恐れがあります。
- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下、左右、前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。
- 時計は垂直・水平に掛けてください。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に動きません。
- 木質の厚い壁面・木の柱に掛けるときは、木ネジをご使用ください。
- コンクリート・石膏ボードなどの壁には、壁の材質に合わせた市販の掛け具を使用してください。
- 記載以外の取付面の場合は、建材メーカー等へご相談ください。



| | |
|-------------|---|
| 製品仕様 | |
| 受信電波 | 長波JJY(標準電波) 40kHz/60kHz自動切換え式 |
| 自動受信回数 | 1日最大7回 (午前2時16分,3時16分,6時16分,10時16分, 午後2時16分,6時16分,10時16分) |
| 時間精度 | 受信していない時、平均月差約±30秒以内 (気温25℃で使用した場合) |
| 使用温度範囲 | 0℃～+40℃ |
| 使用電池 | 単3乾電池1個(アルカリ電池使用)※電池別売 |
| 電池寿命 | 約1年(アルカリ電池使用) |
| 付属機能 | 自動受信機能、手動時刻設定機能、強制受信機能、 夜間秒針停止機能(午後10時1分～午前6時) |

- セット内容
時計本体、取扱説明書/保証書 ※電池別売



- この取扱説明書の内容は予告なしに変わることがあります。
- 印刷による制限のためこの取扱説明書中の図が実際の表示と異なることがあります。
- この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してもなんら責任を負いません。
- この取扱説明書を発売元の許可無くして変更・複製することを禁じます。

保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については下記をよくご確認ください。本製品の保証ならびにアフターサービスは、日本国内においてのみ有効です。海外での保証・アフターサービスは行なっておりません。
- 保証期間中、保証規定に基づいた修理品はお買い上げ店がお預かりし、メーカーが無償で修理致します。必ず販売店名捺印の保証書を添えて修理をご依頼ください。
- 保証期間中でも無償修理の対象とならない修理品、および保証期間終了後の修理品は、ご希望により有償で修理を承ります。
- 修理が可能な期間は、修理内容により異なります。また、修理が可能な場合でも規定の精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談の上、修理をご依頼ください。
- 修理の際、部品・その他すべての付属品は、一部代替部品を使用させていただく事もありますのでご了承ください。
- 保証期間外もしくは保証の対象とならない修理の際は、本体の修理代金の他に お買い上げ店と修理窓口との間の往復運賃・諸掛り費用をお客様にてご負担願います。修理代金が標準小売価格を上回る場合がありますので、お買い上げ店とよくご相談の上、修理をご依頼ください。
- 保証期間中、終了後も、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込み願います。修理を依頼される際は お買い上げ店にご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理となりますのでご了承ください。

- 本保証書のご提示がない場合。
- 本保証書に販売店およびお買い上げ日の記入が無い場合。または、字句を書換えられた場合。
- 誤ったご使用、不注意、不当な修理・改造、火災、天災地変による故障や損傷。
- ご使用中に生じる外観上の変化（フレーム・ガラス・その他付属品のキズや変色等）

取扱説明書(保証書)

電波掛時計

| |
|---|
| 取説番号：GRC共通-C |
| 対象型番： HWC-024RC HWC-025RC HIC-008RC |

※仕様は商品によって異なる場合があります。お買い求めの商品をご確認ください。

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

保証書

| | |
|----------|-----------------------|
| 製品型番 | 無効 無効 無効 |
| お買い上げ日 | ※保証期間は お買い上げ日より1年間です。 |
| お客様氏名 | 無効 無効 無効 |
| お客様住所 | 無効 無効 無効 |
| ご連絡先電話番号 | 無効 無効 無効 |
| 販売店 | 無効 無効 無効 |

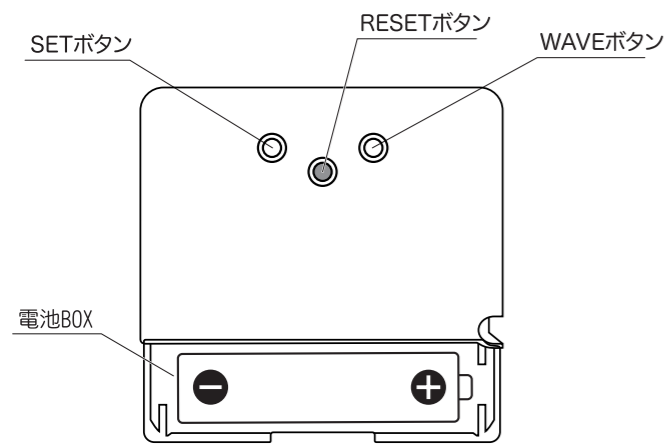
無効 無効 無効

| | |
|---|----------------------------------|
| お客様専用ダイヤル | |
| 042-703-8310 土日祝日を除く 平日10:00~12:00・13:00~17:00 | |
| アフターサービス | 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1638-1 |

発売元 **保土ヶ谷電子販売株式会社**

各部の名称

■ 時計本体裏面



⊕ ⊖ の方向を正しく入れてください。

ご使用方法とご注意

■ 時計を合わせる(アルカリ電池使用)

- ① 電池BOXの表示に従い、電池の(+)(-)方向を間違えないように(-)側から完全にはめ込んでください。

注 意

- (+)(-)を逆に入れますと時計は動きません。又、故障の原因になります。

- ② RESETボタンを押してください。
- ③ 針が高速回転します。秒針に続き、時分針が12時の位置します。
- ④ 自動受信を開始します。
 - ※ 受信するまで、最大16分かかります。
 - ※ 受信するまでは、時計を縦置きしたり、壁に掛けたりすると受信しづらくなるので、机の上などに横置きにすることをお勧めします。
- ⑤ 受信に成功すると、針が高速回転して受信した時刻を表示します。
 - ※ 受信できなかった場合は運針を開始します。
 - ※ 場所を変えるなど、受信しやすい環境に移し、RESETボタンを押して、上記「■時計を合わせる」の②以下を行ってください。
 - ※ 電池をセットしてから受信完了までの時間は地域、環境条件によって異なります。初めて電池をセットし、電波を受信しなかった場合でも、夜間は昼間と比べて電波状況が良くなるため、一昼夜そのままにして様子を見てください。
 - ※ 万一、正常に受信しない場合は、窓際など電波を受信しやすい場所に置いてもう一度上記①～⑤を行い受信させるか、後記「■手動で任意の時刻を設定する」で時刻設定をしてください。



- ※ 受信に失敗した場合は、その後の自動受信時刻に順次受信動作を行います。(最大1日7回)その間、一度も受信できなかった場合は再度自動受信時刻に順次受信動作を行います。

受信しづらい、誤った時刻を表示した場合は

- ご使用していて、受信がしづらい、誤った時刻を表示するなどを感じましたら、窓のそば、送信所に対する商品の方向を合わせる、金属製品から離すなど、置き場所を変えてご使用いただくと、それらの症状が改善されます。
 - ※ 電波時計は、微弱な電波を受信して時刻を修正しています。この微弱な電波を受信するアンテナは、送信所に対しての向きが合っていない場合、すぐ近くに金属製品がある場合、取扱説明書に記載のノイズの発生源が近くにある場合や、地下室、ビルの中など電波の届きにくい所では、その性能を十分に発揮できません。

■ 自動受信機能

自動受信機能とは、あらかじめプログラムされている時刻になると、自動的に受信動作を行い、自動で時刻を修正することを言います。この時計では1日最大7回(午前2時16分,3時16分,6時16分,10時16分,午後2時16分,6時16分,10時16分)行います。

■ 自動受信以外で受信させる(強制受信)

- 任意に電波受信させる機能です。
- ① 通常運針をしているときに、WAVEボタンを3秒以上長押しすると「強制受信」になります。秒針が午前12時の位置で停止後、時分針が高速回転して12時位置で停止して受信動作を開始します。
 - ② 電波受信に成功すると、針が高速回転して受信した現在時刻を示します。(電波受信ができなかった場合、強制受信を行う前の時刻を表示し、運針を開始します。)
 - ※ 受信中に本機を動かしていると、受信能力は低下します。
 - ※ 受信に成功するまでの時間は、地域、環境条件によって異なります。
 - ※ 万一、正常に受信しない場合は、窓際など電波を受信しやすい場所に置いてもう一度WAVEボタンを押して強制受信させるか、後記「■手動で任意の時刻を設定する」で時刻設定してください。

■ 手動で任意の時刻を設定する

- 電波受信環境が良くない場合、手動で時刻を設定することができます。
- ① 通常運針をしているときに、SETボタンを3秒以上長押しすると分針が動き出します。SETボタンを短く1回押すごとに、分針が1分ずつ動きます。
 - ② 時刻設定後、SETボタンを押すのを止めると、運針を開始します。

注 意

- 電池を入れ直す、もしくはRESETボタンを押すと、全ての針が12時の位置(午前0時)で停止します。合わせたい時刻が午後の場合は12時間以上移動させて現在時刻に合わせてください。
 - ※ 設定時刻が夜間秒針停止の時間帯(午後10時1分～午前6時)の場合、秒針は12時の位置で停止し、時分針が動きますが故障ではありません。

■ 秒針停止機能

午後10時1分～午前6時の間は秒針が12時の位置で停止します。秒針停止中に手動で時刻設定する場合は、「■手動で任意の時刻を設定する」を参照してください。(設定時刻が午後10時1分から午前6時の間にあるときは、秒針は12時の位置で停止します。)

■ 電池交換(アルカリ電池使用)

- (+) (-) の方向を正しく入れてください。
 - ※ 必ず新しい電池をお使い下さい。
 - 電池交換した後は、RESETボタンを押してください。

注 意

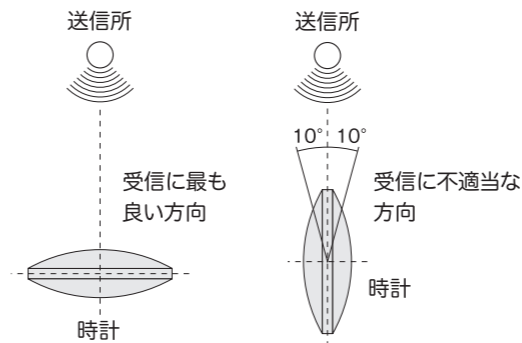
- (+)(-)を逆に入れますと時計は動きません。又、故障の原因になります。

■ 電波時計の設置場所について

1. 受信しやすい場所
 - 電波時計は、長波標準電波を受信し、表示する時計ですので電波を受信しやすい場所(例えば窓の近く) に時計を置いてください。
2. 受信しやすい方向
 - 時計の表示部、または裏面を標準時刻電波送信所に向かい合う位置に置くと、最も受信状態がよくなります。

<標準電波送信所の位置>

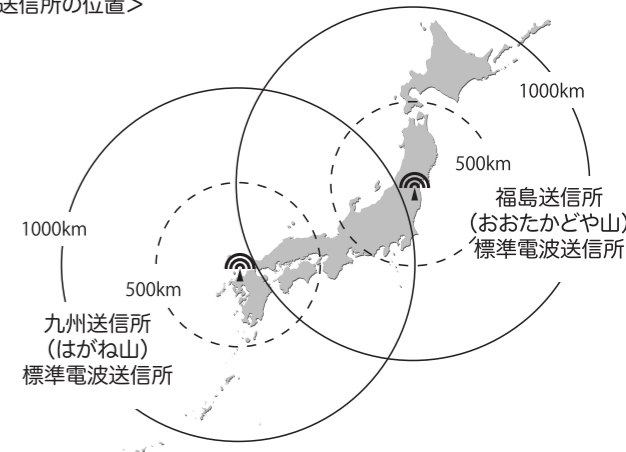
- ・福島県田村市おおたかどや山…40kHz
- ・福岡県と佐賀県の県境はがね山…60kHz



電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。標準電波は独立行政法人情報通信研究機構が運用しており、福島県の「おおたかどや山(40kHz)」と、福岡県と佐賀県の県境の「はがね山(60kHz)」の2か所から送信されています。これらの電波は条件の良い時は発信所から1.000～1.200km離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・地形・建物・時間帯・置き場所・時計の向きなどの影響で受信できない場合がございます。その場合はクオーツ時計として製品仕様に記載された精度で作動します。

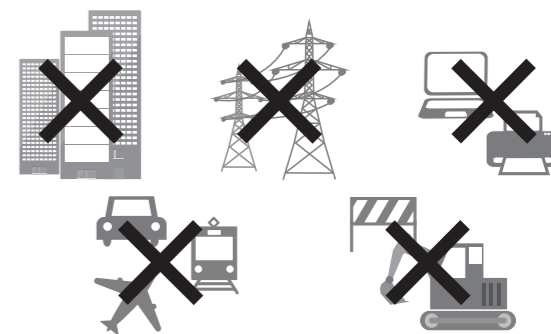
<送信所の位置>



標準電波・電波送信に関する詳しい情報はこちらのホームページをご覧ください。
日本標準時プロジェクト <https://jty.nict.go.jp>
※送信設備のメンテナンスにより電波が停波される場合がございます。
※上記のURLは予告なく変更される場合があります。

使用場所について

- 本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際は出来るだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
- ビルの中、ビルの谷間、地下、山間部など。
 - 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
 - テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
 - 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
 - 乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)。
 - その他電波ノイズを発生させるものの近く。
 - スチール机等の金属製の家具の上や近く。



標準時刻電波は、国によって周波数、時刻信号の内容が異なりますので、海外では電波時計としては使用できません。又、日本と時差のある諸外国で使用する場合、まれに日本標準時刻電波を受信して、日本の時刻を表示する場合があります。